

長崎と広島への平和絵本の作者によるピーストーク

入場無料

ノーベル化学賞受賞者と詩人が語る、子どもたちへのメッセージ
そして、未来への大人の責任

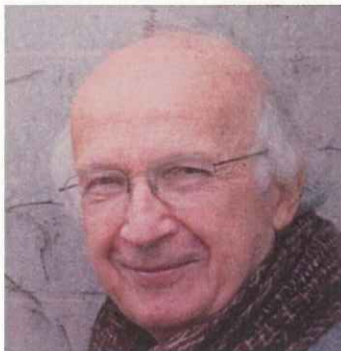
10月16日(火) 13:30~15:30 (13:00開場)
NBCビデオホール (長崎市上町1-35 NBC別館3階)

日本を愛するふたりの世界人が、それぞれ長崎と広島を題材に絵本を制作しました。
そこに込められた子どもたちへのメッセージとは? また、核兵器禁止条約の採択など
世界市民が動き出す中、わたしたちが果たすべき責任について語ります。

アウシュビッツを生きのびたノーベル化学賞受賞者。
長崎の被爆者に心を寄せる絵本『ざっそう』作者。

アメリカ生まれ、広島をあざやかに語る絵本
『さがしています』と『ドームがたり』を作り出した詩人。

ロアルド・ホフマン氏



Roald Hoffman

『ざっそう』



(今人舎刊)

1937年ポーランド(現在のウクライナ)生まれ
アウシュビッツを生きのび、49年、アメリカに移住
1981年度のノーベル化学賞を福井謙一氏とともに受賞
劇作家でもあり、アウシュビッツを題材にした作品は、
八千草薫、吉田栄作などによって日本でも上演された
この10月初旬には、長崎の被爆者をモデルにした絵本
『ざっそう』を出版

アーサー・ビナード氏



Arthur Binard

『ドームがたり』



(玉川大学出版部刊)

1967年ミンガン州生まれ 広島市在住
詩作、絵本の創作、翻訳、エッセイなど著書多数
核問題にも精通し、九条の会会員
広島を題材にした『ドームがたり』
(2017)は、この春、全国学校図書館協議会と
毎日新聞主催による日本絵本賞を受賞
文化放送でラジオパーソナリティーもつとめる

※入場は無料ですが、できるだけ前もってお申し込みください。

※当日は絵本の展示販売・サイン会もあります。

主催：核兵器廃絶地球市民長崎集会実行委員会(長崎市平野町7-8)

申込・問い合わせ：TEL 095-844-9923 (事務局：長崎市平和推進課内)

E-mail: heiwa@city.nagasaki.lg.jp

参加登録者
募集中!

第6回核兵器廃絶-地球市民集会ナガサキ

「核兵器のない世界をこの手に ~禁止条約とICAN/ノーベル平和賞を力に~」

2018年11月16日(金) - 18日(日) 会場/平和会館ホール、長崎原爆資料館